

# 「総合的な学習の時間」指導案

(横浜の時間)

横浜市立美しが丘東小学校

指導者 増井 秀和

- 1 日時・場所 平成26年1月29日(水) 音楽室
- 2 学年・組 第5学年1組 28名
- 3 単元名 ステップアップ! 清里宿泊体験学習  
～清里宿泊体験学習をまとめ、発信しよう!～
- 4 単元について

## (1) 児童の実態

学習も遊びも一生懸命な子ども達である。男女の仲もよく、グループ活動や学級会、クラスレクなどを自分たちの力で進め、課題の解決に向かおうとする意欲にあふれている。楽しいことが大好きで、月1回のクラスレクを主体的に企画・実施したり、任意参加の全校ライブでお笑い劇やダンスを披露したりと、自分たちで学校生活を楽しくしようとする熱意が感じられる。また、高学年となり、行事や委員会活動、クラブ活動やたてわり活動など、6年生を主として他学年と協力して活動する機会が増えた。様々な場面で各々が力を発揮し、成功体験を重ねることで少しずつ自信を深めてきたと感じている。

一方その熱意の裏返しともいえるが、自分の思いばかり先行してしまい、皆で協力せず一部の者だけで活動を進めてしまったり、発表の場面では相手意識なく自分たちの楽しさや満足感だけ成功とみなしてしまうことがあった。その都度、学級目標の「5の1 31 ケーキ」にこめた、「㊦じめ、㊧がお、㊨ようりよく、㊩ずな」に立ち戻り、高学年としての意識を高くもって活動できるよう支援をしてきた。

今回の「清里宿泊体験学習」に向かう子どもたちは、前年4年生のときに1泊2日の上郷宿泊体験学習を経験していることもあり、友だちと一緒にする活動や宿泊をとっても楽しみにしていた。また、普段できないことに挑戦したいという願いももっていた。体験学習内容の登山やキャンプファイヤー、農村体験など子ども達にとって初めての体験ばかりであった。特に登山について、普段から体力面で秀でていたとは思えなかった子どもたちにとって、全員で上って下りてくることはかなりの難題であると学年の担任達は考えていた。しかし、いざ終えてみると5年生全員が脱落者なく登山を楽しむことができた。担任達にとっては嬉しい誤算であり、子ども達にとっては大きな達成感を得るとてもよい機会となったといえる。その他の農村体験やペンションでの宿泊、ほうとうづくりなど、今回はクラスごとやグループごとの活動が多かったこともあり、クラスの絆がより深まったと思っている。

なお、情報・視聴覚の視点としては、本校の5年生年間指導計画に則り、デジタルカメラを中心に

様々な場面で視聴覚機器を活用する機会を設けてきた。

例 ・ 社会科：調べ学習でパソコンによる情報収集

・ 理科：アサガオの実験・観察でうまくいかなかったものを動画で紹介

・ 図工：春の風景画を描く手助けとして、自分で同じアングルからデジカメで撮影して印刷

・ 行事：様々な機会でも子ども自身が記録写真をデジカメで撮影

( ・ 放送委員会：各行事の様子や事後インタビューをビデオカメラで撮影)

## (2) 材「清里宿泊体験学習」について

本年度より宿泊地を新たにし、山梨県北杜市にある清里にて10月14日～16日の2泊3日で宿泊体験学習を行った。1日目は「飯盛山」登山とキャンプファイヤー、2日目はグループ別に分かれての農村体験とペンションへの分泊、3日目は郷土料理「ほうとう」づくりというプログラムであった。

宿泊地の変更に伴って活動内容が昨年度から一新し、子どもも職員も手探り状態で準備することとなった。宿泊1か月前に開いた「保護者説明会」では、写真やポスター、劇などで活動内容を子ども達自身が保護者にプレゼンテーションする活動も取り入れた。

体験学習の当日は2日目～3日目にかけて台風によって悪天候となってしまう、農村体験では屋内の活動が主になったり、ほうとうづくりは一斉ではなくペンションごとに行ったりといった多少の変更があった。それでも子どもたちは、それまで経験したことのないそれぞれの活動を大いに楽しみ、登山や農村体験ではつらい場面も声をかけ合いながら協力して乗り越え、欠席者や事故、怪我もなく全員で2泊3日を終えることができた。

## (3) 単元の意図

清里宿泊体験学習を通して、子ども達は大きく成長したように感じる。それは、登山や農村体験のつらさを乗り越えたたくましさであったり、当日に向かうまでに「しおり・活動・キャンプファイヤー」の各グループ別で準備をし、それぞれが役割を果たして深めた責任感であったり、様々である。清里宿泊体験学習のスローガンに含まれていた「ステップアップ」は学年目標のひとつであるが、このめあてを達成したといえる。本単元では、来年度に同様の学習を控えている4年生に向けて活動の様子を伝えるということが目的であるが、清里宿泊体験学習をふり返ることで自らの成長に気づき、これからの自分の生き方に生かしてほしいと願っている。

宿泊体験学習を伝えるという活動は、子ども達自身が昨年度の4年生の時に「上郷宿泊体験学習」の後にすでに経験しており、また現4年生も同様の活動を今後控えている。それらを踏まえ、「発表の仕方もステップアップしよう」と投げかけ、5年生としてふさわしい発表の方法を考えていきたい。

## (4) 単元目標

清里宿泊体験学習について、当日を迎えるまでの準備や宿泊体験学習のよさや楽しさをふり返り、それらを友達と協力してわかりやすくまとめて発信する活動を通して、自らの成長とこれからの生き方について考えることができる。

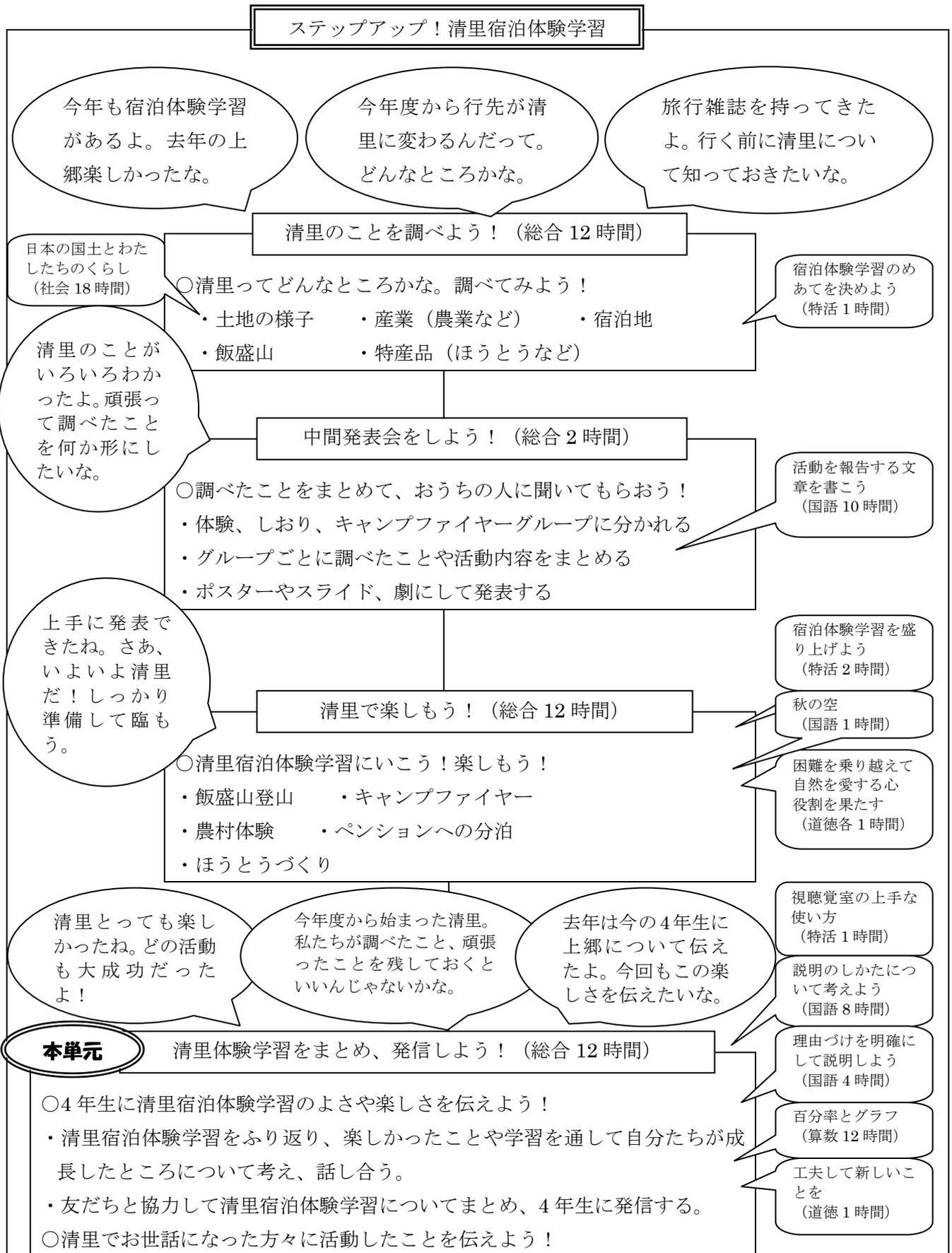
## 5 身につける資質・能力・態度

学習方法に関すること	<p>○清里宿泊体験学習のよさや楽しさについて、わかりやすく伝える方法を考えて計画を立て、工夫してまとめる。</p> <p>○まとめたことを見直し、表現の的確さや分かりやすさについて検討し、よりよい発表になるよう改善する。</p> <p>○まとめたことをもとに、自らの主張をメディア機器を活用して効果的に発信する。</p>
自分自身に関すること	<p>○自分のもっている知識や技能を活用し、わかりやすく伝える方法を最後まであきらめずに探究する。</p> <p>○清里宿泊体験学習を通して自分が成長したことをふり返り、これからの自分を見つめ、自己をより高める。</p>
他者や社会とのかかわりに関すること	<p>○自分や仲間のよさを生かし、清里宿泊体験学習についてふさわしい伝え方を話し合い、協力してまとめたり発信したりする。</p> <p>○4年生のことを考え、わかりやすく楽しい発表になるよう考える。</p>

## 6 研究テーマにせまるために

児童自らが学び取る力をつけるための、効果的にICTを活用した学習のあり方  
～携わる者すべてのスキルアップをめざして 情報化社会の中で正しく過ごすために～

- 自分のもっている技能や知識をもとに、相手や目的に応じてわかりやすい方法を自ら考え選択し、表現して伝える。
  - ・これまで利用してきたデジカメやパソコン、書画カメラなどの視聴覚機器を活用し、前年度の上郷宿泊体験後の発表や保護者説明会での経験を生かして、より高学年らしいプレゼンテーションができるようにする。なお、どのような方法で発表することが効果的かをよく話し合い、的確に視聴覚機器を選択したり、劇や紙芝居といった視聴覚機器以外の発表形式も目的に応じて選べたりするようにする。
- リハーサルを行い、視聴覚機器を活用して自ら確認したり互いに見合ったりして、よりよい発表ができるよう追究する。
  - ・これまで発表というと、原稿やポスター、劇などどれも内容を仕上げることばかりに終始してしまい、発表の聞き手にとってわかりやすいか、伝わりやすいかなどを検討する時間をとれていなかった。テープレコーダーやデジタルカメラの動画機能を活用し、相手の立場にたって自分の発表をチェックし、よりわかりやすい伝え方となるよう改善を加えられるようにしたい。



**ステップアップ！清里宿泊体験学習**  
～清里宿泊体験学習をまとめ、発信しよう！～

4年生に清里宿泊体験学習のよさや楽しさを伝えよう！

○清里宿泊体験学習をふり返り、楽しかったことや学習を通して自分たちが成長したところについて考え、話し合う。

山登りや農作業、はじめてで楽しかったな。

清里を通して、スローガンの「ステップアップ」ができたよ。

大変なことでも、友達と協力してがんばればできるんだね。

○4年生に清里宿泊体験学習についてどのように伝えるか考え、話し合う。

- ・劇
- ・プレゼンテーション
- ・紙芝居づくり
- ・絵

グループごとに発表しよう！

○グループにわかれ、友だちと協力して清里宿泊体験学習についてまとめる。

- ・自分にとって清里のよさや楽しさが伝えられるグループを選ぶ。
- ・友達と協力しながら、4年生にとってわかりやすい発表になるよう工夫して活動する。
- ・リハーサルを行い、聞き手の立場になって自分の発表を見直す。

**本時**

○4年生に清里宿泊体験学習のよさや楽しさを伝える。

- ・発表会を開き、清里についてわかりやすく伝える。

去年の発表よりもレベルアップした活動にしよう！

清里でお世話になった方々に活動したことを伝えよう！

○清里でお世話になった方々に活動したことを伝える。

- ・お礼の手紙
- ・活動報告書
- ・ビデオレター

## 8 本单元にかかわる教科等

教科名等	单元名	時間数
国語	活動を報告する文章を書こう	10
	秋の空	1
	説明のしかたについて考えよう	8
	理由づけを明確にして説明しよう	4
社会	私たちの国土	21
算数	百分率とグラフ	12
道徳	困難を乗り越えて	1
	自然を愛する心	1
	役割を果たす	1
	工夫して新しいことを	1
特別活動	宿泊体験学習のめあてを決めよう	1
	宿泊体験学習を盛り上げよう	2
	視聴覚教室の上手な使い方	1

## 9 実際の学習の流れ

### 第1時

清里宿泊体験学習を終え、この学習をどうまとめるかを話し合った。昨年4年生の時に「上郷宿泊体験学習」で下学年に発表した経験から、今回も伝えたいということになった。しかし、相手も4年生として同様の宿泊体験学習をしているため、伝え方を工夫・レベルアップしないといけないねと担任のほうから投げかけた。子どもたちからは以下のアイデアが挙げられた。

- ・物語 … キャンプファイヤーのときにクラスで発表したものをよりよくして
- ・劇 … 経験したことをリアルに表現できる、お笑い劇にしたい
- ・ペープサート劇 … 小さいからテレビに映し出すといい
- ・テレビ … 画像を使う、大勢に伝えられる、
- ・大きな絵にする      ・写真を使う      ・本にする      ・紙芝居

### 第2時

取り組みを絞り込む手がかりとなるよう、4年生に何を伝えたいか、なぜ伝えたいかをまず話し合った。

何を伝えたいか	なぜ伝えたいか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったこと</li> <li>・進歩、成長</li> <li>・スローガンの「自然・絆・協力」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生に楽しんでもほしい</li> <li>・私たち以上に（自然を）知ってほしい</li> </ul>

これを受け、伝え方の絞り込みを話し合った。子どもたちの話し合いでは以下の通りに決まった。

- ・ 劇 … 気持ちや様子が伝わりやすい
- ・ テレビ… 4年生よりレベルアップした伝え方ができる

しかし、授業後にひとりの子どもから「テレビでは結局劇を映して発表することと同じ。きまったように見えるけど、実はグループ分けになっていない。」という意見が出た。次時でみんなにも投げかけることにした。

### 第3時

前述の問題点を、「テレビ」とは「ニュース風に伝えること」や「(保護者)説明会のとときのよな発表」の意味であることを話し合いで確認した。話し合いの過程で新しく「清里パーク」というアイデアが出てきた。ほうとうづくりや農作業の疑似体験をするというのである。結果、「劇」「テレビ」「パーク」の3グループで発表することになった。

話し合いを受け、各自希望のグループに分かれた。その後グループごとに話し合いを行い、役割分担を決めたり発表の概要を考えたりして企画書を作成し、活動の見通しを立てた。



### 第4時

テレビチームについて、ビデオの撮影は初めてということもあり、谷本小の田中校長先生にご助力を仰いでビデオ撮影の基本について教わる機会をいただいた。三脚の活用、話し手との距離、逆光の考慮など、子ども達は熱心に話を聞くことができた。

#### パークグループ

・グループ内での相談の後、さらに飯森山登山、農村体験、ほうとうづくりの3グループに分かれることになった。

#### 劇グループ

・台本作りと小道具作りの分担を決め、活動を始めた。

#### テレビグループ

(上述)

### 第5・6時

楽しかったこと、4年生に知ってほしいことなど、4年生に伝える意義を全体で再確認したのちに、グループに分かれて準備をした。

#### パークグループ

・各チーム小道具づくり。道具作りばかりになってしまいがちだったので、当日の活動の流れを確かめながら行うよう助

#### 劇グループ

・台本作りを終えたのち、練習を始める。台本の推敲をせず、体験に行ったという実感に乏しいストーリーになっていた

#### テレビグループ

・前時のビデオの使い方指導を受け、撮影が必要な場面を話し合っって活動を始めた。録画でしかできない場面を設ける工夫

言した。

ので、みんなで読み直すよう  
指導した。

を促したところ、校長先生のイ  
ンタビューを交えるなど、良い  
アイデアを出すことができ  
た。

## 10 本時目標

発表会のリハーサルに向けて、発表の仕方や内容が聞き手にとってわかりやすいものか、友だちと相談しながら工夫して活動することができる。

## 11 本時展開

学習活動と内容	教師のかかわり・支援・評価	
<p>1 本時の学習課題を確かめる。(2分)</p> <div data-bbox="280 864 1337 958" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">リハーサルに向けて、発表が4年生に伝わりやすいか考えながら準備しよう！</div> <p>2 「伝わりやすい発表」とは何か、皆で話し合う。(3分)</p> <p>・話し方 ・絵や写真の活用 ・相手意識 など</p> <p>3 話し合ったことを踏まえ、発表がよりよいものとなるように工夫して準備する。(25分)</p> <p>○全体での話し合いを受け、グループごとに「伝わりやすい発表」について具体案を話し合う。</p> <p>○グループの活動場所にわかれ、活動する。</p>	<p>教師のかかわり・支援・評価</p> <p>・カードに話し合った工夫を書き出し、聞き手を意識した発表が準備できるように掲示する。</p>	
<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パークグループ</span> 5の1</p> <p>○小グループ同士で発表内容 を確かめあい、内容が伝わりや すいか検討する。</p> <p>・体験の進め方やルールの説明 は、文や写真で表して掲示して おくとわかりやすいね。</p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">劇グループ</span> 5の2</p> <p>○練習の様子を見合ったりビ デオで撮影したりして、内容 が伝わりやすいか検討する。</p> <p>・声をしっかり張って、ゆっく り話すといいよ。</p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テレビグループ</span> 5の3</p> <p>○撮りためた映像を見直し、内 容が伝わりやすいか検討す る。</p> <p>・図が見えにくいかもしれない、も っと大きくするといいよ。</p>

<教師のかかわり・支援>

- ・画像や映像を見る際には、大型テレビに出力して大きく見られるようにする。
- ・検討した改善点はカードに書き出し、後の活動にも大切にすべき視点として残せるようにする。

4 ふり返りカードを記入し、次時の学習の見通しをもつ。(5分)

評価

聞き手にとってわかりやすい発表になるように、友達と協力して発表方法を工夫することができる。

☆場の設定

